



【重点取り組み】

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議*（地域情報交換会等）を中心に推進します。

1. 子育てしやすいまちづくりについて

子ども支援センター・地域子育て支援センター子育てアドバイザー（保育士）と母子保健課保健師を中心に、地域の現状や特性に合わせた活動をすすめています。

地 域	地域会議開催回数 (情報交換会)	主 な 取 り 組 み 内 容
阿 蘇	6 回 (1 回)	平成 30 年度の情報交換会で子ども食堂が話題になり、10 月、市内で子ども食堂に携わる方から話を伺う「阿蘇地域子育て情報交換会学習会」を開催。1 月の情報交換会では、母子保健推進員・ファミリーサポートセンター等から子育て支援に関する報告の後、意見交換を行った。社会福祉協議会より地域内に新たな拠点ができる報告もあり、世代を超えた地域の交流が深められるとよい、との意見が出た。母子保健推進員の勉強会では、認定こども園となったマリヤこども園を見学した。
村 上	11 回 (1 回)	平成 30 年度の情報交換会にて外国籍の親子に関する支援が村上地区の課題としてあがったため、昨年度に引き続き保健師・子育てアドバイザーが多文化交流センターに出向き、子育て中に多い相談について情報共有した。多文化交流センターが作成した児童手当等の手続きの説明書（スペイン語・ポルトガル語）を共有し、訪問時等に活用した。11 月には情報交換会を開催し、学校関係を含む幅広い世代の子育て支援に関する各機関が参加し、「子育てを取りまく環境の変化と様々な問題について」をテーマにグループワークを行った。グループワークでは、参加者が日々の活動の中で感じている、子育てを取りまく問題について活発な意見交換をすることができた。母子保健推進員の勉強会では OOSAWAGARDEN の見学を行い、地域の社会資源について共有することができた。
睦	3 回 (1 回)	平成 27 年度の地域情報交換会で「睦地区の子どもの安全を守る視点で考える」をテーマに地域の危険箇所等の情報を共有し地図に書き込み、以後、その地図を地域子育て支援センター つばめに掲示し、来所した母子や母子保健推進員からの情報を追加しており、新しい情報を地域情報交換会で共有している。令和元年度の地域情報交換会では、台風 15 号等の風水害で危険と感じたことや場所について、情報交換し地図に書き込むことができた。防災士の資格を持つ参加者から「今回の風水害はこれから毎年起きる、大きな震災も近い将来に起きるとい認識を持つことで初めて防災のスタートに立てる。」と話があり、自助共助の大切さを再認識することができた。
ゆりのき台 大和田新田下区	8 回 (1 回)	大和田地区と合同で情報交換会を開催し、子ども支援センターや母子保健課の取り組み等を共有した上で、「次の親になる世代への支援」についてグループワークを行った。情報交換会において、各団体からジュニアなかよしボランティアの周知について協力が得られるきっかけとなった。また、幼少期に親から愛情を注いでもらうこと、さまざまな経験をすることの大切さ等を地域の方々と共有できた。母子保健推進員の活動は、地域の施設保育園の見学や、下区公会堂の出前「遊びと交流の広場」に参加するなどの活動を通じて、子育ての現状を知る機会を設けた。

大和田	6回 (1回)	ゆりのき台・大和田新田下区地区と合同で情報交換会を開催した。(詳細は、ゆりのき台・大和田新田下区参照) すてっぷ21 大和田の子育てアドバイザーを中心に、大和田支会まつりで乳幼児の保護者を対象に妊婦体験のブース出展を企画していたが、台風のため中止となった。また、すてっぷ21 大和田利用者から参加者を募り、親子で大和田支会主催の生け花教室に参加(年3回)。若い世代と地域住民の世代間交流の場となっている。母子保健推進員の活動としては、すてっぷ21 大和田と地域子育て支援センターこあらを見学し、訪問の際により具体的に紹介できるようになった。
高津	3回 (1回)	例年は母子保健推進員が所属するやちよ元気体操応援隊の協力を得て、こあらタイムでやちよ元気体操を実施していたが、高津地域にある別の応援隊に協力を得て、世代間交流を図った。普段体操する機会がない母親からは、楽しく体を動かせたという好評。応援隊からは地域子育て支援センターの存在を初めて知ったことや、子どもたちと交流できて嬉しかったという意見があり、交流のいいきっかけとなった。母子保健推進員の活動としては、新設のあい・あい八千代緑が丘保育園を見学し、施設の安全管理、地域との関わりなど特色を学んだ。令和元年度も緑が丘地区と合同で地域情報交換会を行い、防災(風水害)について危機管理課の講演とグループワークを行い、日頃からの防災意識、備蓄の必要性、地域での人とのつながりの大切さを再確認した。
緑が丘	3回 (1回)	昨年度同様、高津地区と合同で地域情報交換会を行った。(詳細は、高津地区参照) 母子保健推進員の活動として、新設保育園(あい・あい八千代緑が丘保育園、ていだまちキッズ)の2施設を見学した。認可保育園、企業主導型保育施設と異なった形態の保育園で、それぞれの保育園の特徴や取り組みについて学ぶことができた。
八千代台	8回 (1回)	地域情報交換会では、「地域で子育てを見守る～お母さん、お父さんの困った姿見かけませんか?」をテーマに意見交換を行った。子育てが、父主体、日中の育児は祖父母主体など、そのあり方が多様になっており、それに伴い困り事も多様になっている状況が、様々な立場の参加者から具体的な事例で出された。いろいろな支援があることを共有すると共に、支援の第一歩として、何かをするというよりまず丁寧に寄り添って困り事を受け止め、理解することが大事であることを話し合った。次のステップとして、情報交換会で共有した意見や課題について、参加者が自分達にできる取り組みを検討し、実践していくことを投げかけた。母子保健推進員の活動では、勉強会で、家庭訪問をしていて思うことや気づいた事を出し合い、子育ての現状の理解を深めた。また、八千代台南公会堂の出前「遊びと交流の広場」に参加して母子と交流をしたり、前田産婦人科内にあるさくらんぼ保育園を見学し、家庭訪問の際母たちへ提供する情報の一つとして理解を深めた。
勝田台	12回 (1回)	勝田台地区総合防災訓練に母子保健推進員・保健師・子育てアドバイザーで参加。事前に母子保健推進員の勉強会で内容・参加の仕方等を協議し、遊びと交流の広場の利用者へ防災の部屋の展示の周知と共に、子育て家庭が持つ「防災の意識・思い」エピソードを集めた。その後、有志の母により掲示物を作成し、総合防災訓練で掲示した。子育て世代の参加は少数であったが、参加した地域住民の子育て世代への思いを知ることができた。また、9月の台風について利用者から地域の人との関わりについて話題になったこともあり、地域情報交換会では、「地域で支え合い、住みよいまちづくりを」～地震以外の災害にも備えよう～をテーマにグループワークを実施。各々の立場から、地域の人々の思いや地域の様々な情報も得られた。子育て支援者と子育て世代をつなぐ役割として、情報の共有を図ることができた。

*地域会議とは、「子育てしやすいまちづくり」の実現にむけ、関係機関や住民組織が集まり、情報交換や課題を検討し実践する会議です。令和元年度も合同開催を含む全地域において地域会議(地域情報交換会)を行いました。

2. 親の子どもへの接し方のスキルを高める事業について

1歳6か月児歯科健康診査や2歳6か月児歯科健康診査の事業において、厚生労働省の健やか次世代育成総合研究事業で作成された「子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～」のリーフレットの配布や育児相談で、子育てのアドバイスを実施しています。

3. 夫婦で子育て（父親への支援）について

「☆パパ☆新聞！！」（平成29年度作成）と、父親向けの子育て冊子である「papatry」を妊娠届出時などに配布しました。また、全数対象事業の中で父親向けの情報を伝えたり、子育て支援センターでは「お父さんと一緒に遊ぼう」という父親向けの事業を行い、夫婦で子育てをするきっかけづくりを行いました。

【その他の主な取り組み】

1. 子どもの食育に関する取り組み

「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなこころを育てます」

本取り組みは「やちよ食育ネットワーク協議会」が行う事業と、母子保健・子育て支援事業を中心に進められている事業の2本柱で推進しています。

（1）やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業

◇食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の実施

農業生産者と関わりのある食育授業を小学校全校で実施することを目指して、平成24年度より食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を開始しました。小学3年生を対象に、人参・ねぎ・梨・ほうれん草・酪農のいずれかの農業生産者が学校に訪問し、農業生産者・学級担任・栄養教諭等の連携で授業を実施しています。

令和元年度は、学校が主体的に取り組めるよう、学校への周知を指導課、農業生産者の紹介を農政課、全体の取りまとめを母子保健課が行いながら、学校が直接農業生産者と連絡を取る流れに変更し、小学校22校中、20校で授業を実施しました。



▲小学校での授業の様子。実際の作物を用いて人参の生産等について説明する農業生産者

- ・やちよ食育ネットワーク協議会・分科会合同会議 1回開催
- ・やちよ食育ネットワーク協議会・分科会会議 1回開催

（2）母子保健・子育て支援事業を中心とした食育

妊娠期からの継続した食育事業を展開しています。

◇妊娠期・・・妊婦に対しての食育（プレママ教室参加133名）

◇乳児期・・・4・10か月児赤ちゃん広場事業での食育（参加者2,105名とその保護者）

◇幼児期・・・もうすぐ1歳半おやこ広場での食育（参加者119名）、「みんなで食育事業」注1での食育（17回実施 参加者144名）、公民館・サークルからの依頼による出前食育講座（3回実施 参加者36組）、子育て応援ポケット事業での食育（相談人数171名 リーフレット配布枚数 2,733枚）

注1 みんなの食育事業とは：食を通じて生活力や育児力をつけることを目的に地域参画型・体験型で行う事業

◇学童期・・・学童保育における食育講座（11回実施 参加者433名）

◇その他・・・依頼による研修会（2回実施 参加者22名）

2. 思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切にし、生と性の課題について適切に対処します」

本取り組みは平成 18 年度に発足した八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に医師、助産師、学校関係者、保護者などのメンバーで推進しています。

(1) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

令和元年度は計 4 回の会議を行いました。発足から 10 年以上が経過し、思春期の子どもを取り巻く環境が変化したことから、「思春期保健の現状と課題」について検討しました。

委員がそれぞれの立場から思春期保健の現状について報告し、意見を交換して理解を深めました。

(2) 中学生向けリーフレットの配布

性に関する正しい知識を得られるサイトや相談機関を掲載した「中学生向けリーフレット」を、市立中学 1 年生とその保護者を対象に配布しました。



(3) 「八千代市オリジナル生と性の教育教材」のデータ更新

平成 25 年度に作成した「八千代市オリジナル生と性の教育教材」に掲載している統計データについて、最新の情報に更新しました。更新したデータは市立中学校に配布し、教員が授業に活用できるよう共有のデータベースに保管しました。

(4) 思春期保健ネットワークニュースレターの発行

保護者や教員を対象に、思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的とし、思春期保健シンポジウムの報告を中心としたニュースレターを発行しました。市立小学 5～6 年生と、市立中学 1～3 年生等に配布しました。

(令和元年 11 月 第 17 報発行)